

通訳翻訳研究所

〈定例講演会第五回〉

日時 平成 30 年 11 月 20 日 (火) 12:15~14:15

会場 愛知県立大学 (長久手キャンパス)
学術文化交流センター2階 小ホール

内容 医療翻訳活動に関する講演

“医療の発展と患者さんに貢献する医療翻訳”

野中 希

日本癌医療翻訳アソシエイツ (JAMT) 副理事長

**参加
申込**

参加費無料, 事前予約不要

※プログラム詳細については、愛知県立大学 HP ポータルサイト

<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

問合せ先

通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp)

「通訳翻訳研究所」定例講演会第五回 医療の発展と患者さんに貢献する医療翻訳

愛知県立大学は平成 28 年 4 月に国公立大学においては稀有な「通訳翻訳研究所」を開設し、順調に活動三年目を迎えました。これも学内外の皆さまのご協力あればこそと、衷心より感謝申し上げます。さて、本年度の定例講演会の第二弾として、「海外がん医療情報リファレンス」ボランティア翻訳サイトを運営する「日本癌医療翻訳アソシエイツ」副理事長の野中希さんを講師にお招きし、最近注目を集める“がん診療に関わる医療翻訳”の必要性とその実態についてお話を伺える運びとなりました。指定対象学生の他にも定員(80名)までは参加可能です。興味があれば、ぜひご来聴ください。

平成 30 年 11 月 5 日 研究所長 大森裕實

【講演要旨】

がんを患った家族を介護した経験から、日本における情報不足を痛感し、2004年に「海外がん医療情報リファレンス」ボランティア翻訳サイトを開設した。この十年余りで、日本で承認される治療薬や情報も増え、がん診療は目覚ましい変化を遂げているが、その裏では医療翻訳が重要なカギを握る。例えば、現代医療における薬や治療のための医学研究や論文は世界中にオンラインで一般公開されており、その共通言語はすべて《英語》である。また、国際共同研究の実施も医療翻訳なくしては考えられない。現代における医療翻訳の必要性および最新医学を知る面白さをお伝えしたい。

日時 平成 30 年 11 月 20 日 (火) 12:15~14:15
(講義 90 分+Q&A's / Free Talk 30 分)



会場 愛知県立大学 学術文化交流センター (2F 小ホール)

内容 [医療翻訳講演会] “医療の発展と患者さんに貢献する医療翻訳”

講師 野中 希 (一般社団法人 日本癌医療翻訳アソシエイツ JAMT
副理事長)

司会 大森裕實 (研究所長/本学教授)

対象 外国語学部 EIC コース履修生/外国語学部通訳技法・翻訳技法履修生/
大学院国際文化研究科英語高度専門職業人コース履修生
※その他ご興味のある方はご自由にご参加ください

**参加
申込** 参加費無料, 事前予約不要 (定員 80 名)
※プログラム詳細については、愛知県立大学 HP ポータルサイト
<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

お問合せは E-mail で通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp) まで
TEL: 0561-76-8824 (学務課 [研究所担当] 阿部)
FAX: 0561-64-1107 (文系教員センター共用)